## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2004/014946

A. CLASSIFI	CATION OF SUBJECT MATTER 7 A63F3/00		
		10	
According to In	ternational Patent Classification (IPC) or to both nation	al classification and IPC	
B. FIELDS SI	ARCHED		
Minimum docu	nentation searched (classification system followed by c A63F3/00	lassification symbols)	
Jitsuyo		itsuyo Shinan Toroku Koho	e fields searched 1996–2004
Kokai J	itsuyo Shinan Koho 1971—2004 To	oroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2004
Electronic data	pase consulted during the international search (name of	data base and, where practicable, search te	erms used)
C. DOCUME	YTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where ap	opropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 63-135675 U (Akiichi HARI 06 September, 1988 (06.09.88)		1
	Fig. 1	,	
	(Family: none)		
A	JP 6-339557 A (Stewart M. La 13 December, 1994 (13.12.94),		1
	Full text; Figs. 1 to 8		
	& US 5308080 A & US & EP 492993 A	5419564 A	
A	JP 58-32785 A (Manabu YAMAMO	TO),	1
	25 February, 1983 (25.02.83), Full text; Figs. 1 to 3		
	(Family: none)		
			j
Further do	cuments are listed in the continuation of Box C.	See patent family annex.	
	gories of cited documents:	"T" later document published after the inter	national filing date or priority
to be of part	efining the general state of the art which is not considered cular relevance	date and not in conflict with the applica the principle or theory underlying the in	tion but cited to understand
"E" earlier appli	cation or patent but published on or after the international	"X" document of particular relevance; the cl considered novel or cannot be considered.	and an incompany transmit
cited to esta	hich may throw doubts on priority claim(s) or which is blish the publication date of another citation or other	step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the cl	
"O" document re	n (as specified) ferring to an oral disclosure, use, exhibition or other means	considered to involve an inventive so combined with one or more other such of being obvious to a person skilled in the	locuments, such combination
"P" document pu priority date	blished prior to the international filing date but later than the claimed	"&" document member of the same patent fa	
Date of the actua	completion of the international search	Date of mailing of the international searce	ch report
	ember, 2004 (20.12.04)	18 January, 2005 (1	
	g address of the ISA/	Authorized officer	
Japanes	se Patent Office		
Facsimile No.	0 (second sheet) (January 2004)	Telephone No.	

A. 発明の高する分野の分類(国際特許分類(IPC))
B. 調査を行った分野 調査を行った分野 調査を行った分野(IPC))  Int. C1' A63F3/00  最小喫資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国共用新案公線 1922-1996年 日本国共用新案公線 1997-2004年 日本国共用新案公線 1996-2004年 日本国共開新案公報 1998-2004年 日本国共開新案公報 1994-2004年 日本国共開新案公報 1994-2004年 日本国共開新案公報 1994-2004年 国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)  C. 関連すると認められる文献 引用文献の カナゴリー*
関連を行った最小限資料(国際特許分類(IPC))  Int. Cl' A63F3/00  最小限度科以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国史用新築公報 1922-1996年 日本国史用新築公報 1996-2004年 日本国史用新築公報 1996-2004年 日本国建設を受出 1994-2004年 日本国建設を実用新案公報 1994-2004年 日本国建設を実用新案公報 1994-2004年 日本国建設を実用新案公報 1994-2004年 日本国建設を実用新案公報 1994-2004年 日際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語)  (C. 関連すると認められる文献
関連を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC) )
最小眼資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国実用新案公報 1971-2004年 日本国と開発素を登録 1996-2004年 日本国建砂実用新案公報 1994-2004年 日本国建砂実用新案公報 1994-2004年 日本国建砂実用新案公報 1994-2004年 国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語)  C. 関連すると認められる文献 引用文献の カテゴリー*
最小眼資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国実用新案公報 1971-2004年 日本国と開発素を登録 1996-2004年 日本国建砂実用新案公報 1994-2004年 日本国建砂実用新案公報 1994-2004年 日本国建砂実用新案公報 1994-2004年 国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語)  C. 関連すると認められる文献 引用文献の カテゴリー*
日本国条用新築公報 1922-1996年 日本国会開東所新案公報 1971-2004年 日本国会用新案登録公報 1996-2004年 日本国登録実用新案公報 1994-2004年 国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用額)  C. 関連すると認められる文献 1994-2004年  国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用額)  C. 関連すると認められる文献 引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示 請求の範囲の番号 カテゴリー* 引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示 請求の範囲の番号 名
日本国条用新築公報 1922-1996年 日本国会開東所新案公報 1971-2004年 日本国会用新案登録公報 1996-2004年 日本国登録実用新案公報 1994-2004年 国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用額)  C. 関連すると認められる文献 1994-2004年  国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用額)  C. 関連すると認められる文献 引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示 請求の範囲の番号 カテゴリー* 引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示 請求の範囲の番号 名
日本国公開実用新案公報 19.71-2004年 日本国全保実用新案公報 19.96-2004年 日本国を保実用新案公報 19.96-2004年  国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語)  C. 関連すると認められる文献 引用文献の カテゴリー*
日本国登録実用新案公報 1994-2004年 国際調査で使用した電子データペース(データペースの名称、調査に使用した用節)  C. 関連すると認められる文献  引用文献の カテゴリー*
□ 回際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語)  C. 関連すると認められる文献 引用文献の
C. 関連すると認められる文献  引用文献の カテゴリー*
別用文献の カテゴリー*   引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示   関連する
A
第1図(ファミリーなし)  JP 6-339557 A(スチュワート エム. ラムレ)199 4. 12. 13, 全文, 図1-8 & US 5308080 A & US 5419564 A & EP 492993 A  A JP 58-32785 A(山本学)1983. 02. 25, 全 文, 第1-3図(ファミリーなし)  □ C欄の続きにも文献が列挙されている。  * 引用文献のカテゴリー 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願目前の出願または特許であるが、国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日前のといるされた文献であって、出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの 「K」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 文献(理由を付す) 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献  「T」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
A JP 6-339557 A (スチュワート エム. ラムレ) 199 4. 12. 13, 全文, 図1-8 & US 5308080 A & US 5419564 A & EP 492993 A  A JP 58-32785 A (山本学) 1983. 02. 25, 全 1  □ C欄の続きにも文献が列挙されている。 □ パテントファミリーに関する別紙を参照。  * 引用文献のカテゴリー 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願目前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの 「E」国際出願目前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの 「T」 国際出願日では位く、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの 「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
4. 12. 13,全文,図1-8 & US 5308080 A & US 5419564 A & EP 492993 A  A JP 58-32785 A (山本学) 1983. 02. 25,全 文,第1-3図(ファミリーなし)  □ C欄の続きにも文献が列挙されている。  * 引用文献のカテゴリー 「AJ 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願目前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの「XJ 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの「Y」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
4. 12. 13,全文,図1-8 & US 5308080 A & US 5419564 A & EP 492993 A  A JP 58-32785 A (山本学) 1983. 02. 25,全 文,第1-3図(ファミリーなし)  □ C欄の続きにも文献が列挙されている。  * 引用文献のカテゴリー 「AJ 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願目前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの「XJ 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの「Y」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
<ul> <li>&amp; US 5419564 A &amp; EP 492993 A</li> <li>A JP 58-32785 A (山本学) 1983.02.25,全文,第1-3図(ファミリーなし)</li> <li>□ C欄の続きにも文献が列挙されている。</li> <li>□ パテントファミリーに関する別紙を参照。</li> <li>* 引用文献のカテゴリー「AJ 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの「E」 国際出願目前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表された文献であって、出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明して、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの「Y」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以文献(理由を付す)</li> <li>「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献</li> </ul>
A
文, 第1-3図(ファミリーなし)  【
□ C欄の続きにも文献が列挙されている。 □ パテントファミリーに関する別紙を参照。  * 引用文献のカテゴリー 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す もの 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表されたもの 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 文献 (理由を付す) 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
* 引用文献のカテゴリー 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明日ましくは他の特別な理由を確立するために引用する。「Y」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明な献(理由を付す) 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 よって進歩性がないと考えられるもの
* 引用文献のカテゴリー 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明日ましくは他の特別な理由を確立するために引用する。「Y」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明な献(理由を付す) 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 よって進歩性がないと考えられるもの
* 引用文献のカテゴリー 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表されたもの 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する。文献(理由を付す) 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献  * 引用文献のカテゴリー の日の後に公表された文献 の理解のために引用するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す もの 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表された文献であって 出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論 の理解のために引用するもの 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 文献 (理由を付す) 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに よって進歩性がないと考えられるもの
もの  「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表されたもの 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 文献 (理由を付す) 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献  出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論 の理解のために引用するもの 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに よって進歩性がないと考えられるもの
以後に公表されたもの 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 文献 (理由を付す) 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに よって進歩性がないと考えられるもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 文献 (理由を付す) 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 よって進歩性がないと考えられるもの
日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 文献 (理由を付す) 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 よって進歩性がないと考えられるもの
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献よって進歩性がないと考えられるもの
│「P」国際出願日前 で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「&」同一パテントファミリー文献
国際調査を完了した日 20.12.2004 国際調査報告の発送日 18.1.2005
国際調査機関の名称及びあて先. 特許庁審査官(権限のある職員) 2N 8522
日本国特許庁(ISA/JP) 西村 仁志
郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号 電話番号 03-3581-1101 内線 3275

様式PCT/ISA/210 (第2ページ) (2004年1月)